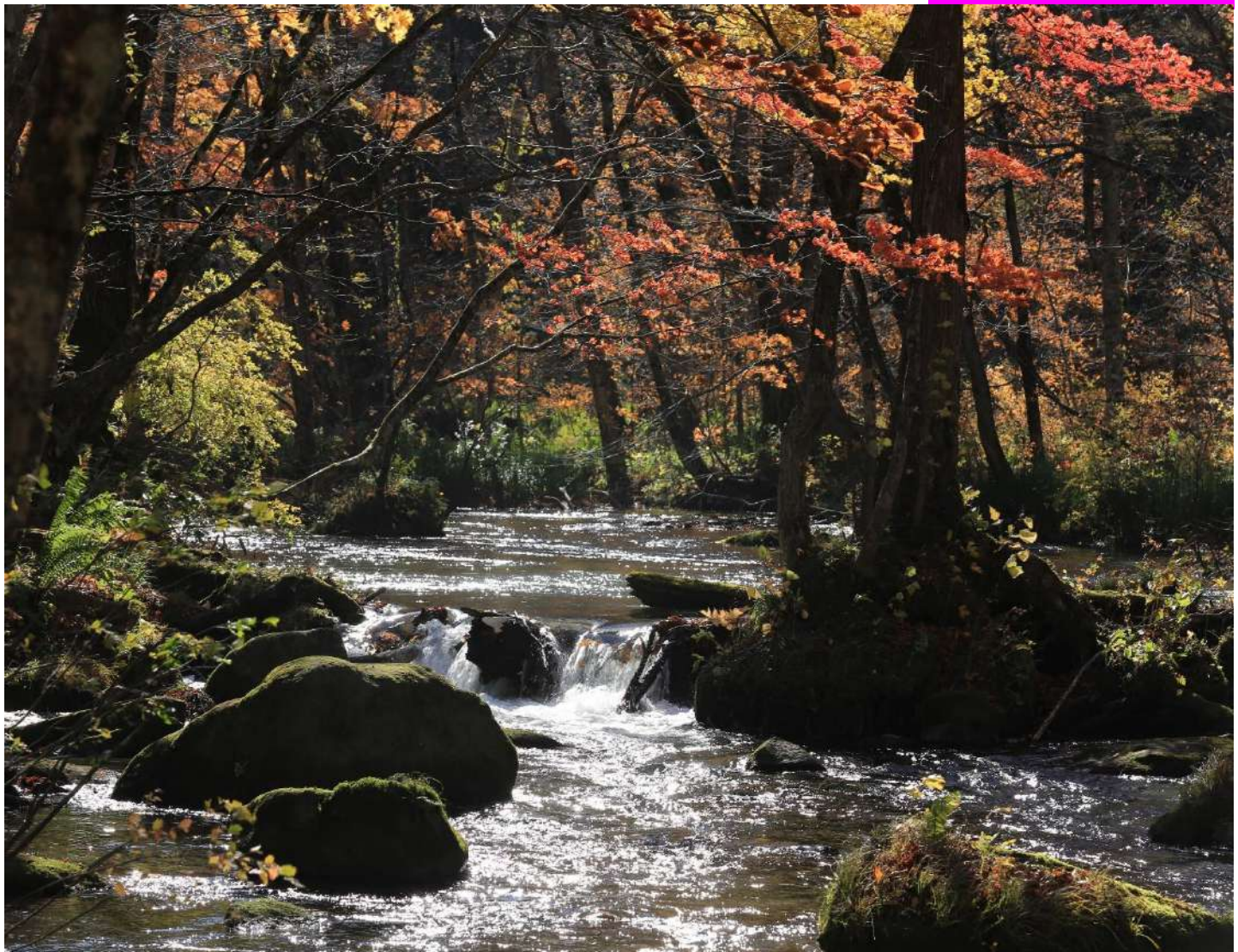


KADERU (かでる)

2018
Vol. 1



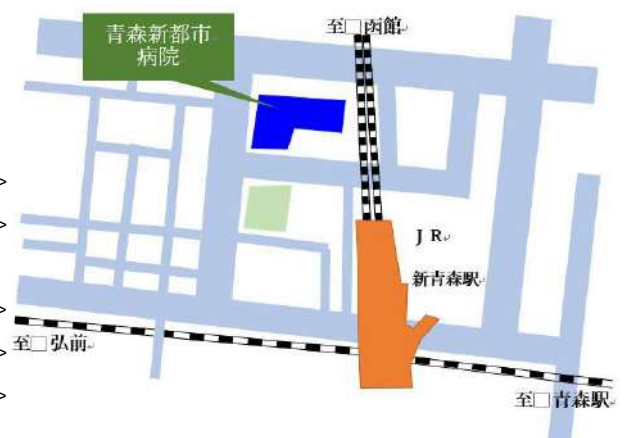
紅葉の奥入瀬溪流

— Contents —

◆ 発刊のご挨拶 病院長 中島龍夫

◆ お知らせ

- 市民健康セミナー
 <最新の脳卒中リハビリテーション>
- 今月の標語 <整理 整頓>
- 記事紹介
 <「定期健診で早期発見を」東奥日報>
- 部署紹介 <患者支援センター>
- 外来担当医表 <平成 30 年 11 月>



〒038-0003 青森市石江 3 丁目 1 番地
医療法人 雄心会 青森新都市病院
[http:// aomorishintoshi-hp.yushinkai.jp/](http://aomorishintoshi-hp.yushinkai.jp/)

地域連携課 患者支援センター
直通：017-757-8785
FAX：017-788-9902

発刊のご挨拶

日ごろから、地域の皆様方には当院の運営に格別のご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。さて、当院では、昨年5月から患者支援科が窓口となって地域との連携を図っております。このたび当院の情報発信の強化を図る目的で、地域連携だより「KADERU」を創刊することとしました。皆様には当院の医師や診療科の情報ははじめとして、医療健康セミナー等の情報などもお届けしますのでご活用いただきたいと思います。

当院は、青森市の救急医療体制が中央や東部地域に偏在している傾向にあったことから、新青森駅を中心とした西部地域において、救急指定病院を整備することで、外ヶ浜や蟹田地域を含めた地域の皆様の安心安全に微力ながらお役に立ちたいと考えています。そのための当院の今後の方向性は次の項目に要約されます。1.患者様の要求や希望に出来るだけすばやく対応する。2.全国的に見れば191床と比較的小規模な病院であるため、オールラウンドな医療を行うのではなく、脳神経外科、形成外科、整形外科、乳腺・甲状腺外科などいくつかの項目に重点的に特化し、地域の皆様に役立つ医療を行う。3.独創性とチームワークを重んじ「医療の質」を高めるとともに「医療の安全」を考慮する。4.当院だけでは対応できない疾患に対しては大学病院や高度医療機関を紹介する。5.弱き人々にたいする無限の同情心を持ち、片時も驕ることなく、質の高い、わさびがピリリと効いた医療を目指す。

人生は思い出を作る場所でもあります。平素自分なりに努力しているようでも一寸踏み違えると楽な世界に埋没してしまい、社会の流れから取り残されることになってしまいます。私としても自分の行動に責任を持ち私の人生が皆様のために有意義であった、と評価されるようにしたいと考えています。小さな突破口が開いたばかりの新都市病院ですが、この口を広げてゆき、ここ一番の時には臨機応変に対応し青森の医療に柔軟に貢献する所存です。地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

青森新都市病院 病院長 中島 龍夫



市民健康セミナー



9月8日(土)安保雅博先生(東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座主任教授・日本リハビリテーション医学会副理事長)にご講演いただきました。「最新の脳卒中リハビリテーション医療」～2000年から激変し続ける脳卒中リハビリテーション医療～というテーマで、介護支援専門員及び介護従事者を対象に60名の方々にご参加いただきました。参加者からは、●とてもわかりやすかったです。リハビリも今まで諦めていた人でも何年経っても良くなる事が出来るとわかり、希望が持てました。(40代介護支援専門員) ●脳卒中の後遺症で硬くなり変形している方がボツリヌス療法を打った後に動かすと良くなるという事にびっくりしました。周囲の人にそうゆう人がいるのもっと広く利用できるようなればいいと思います。(50代介護支援専門員) ●今回初めてボツリヌス療法がある事を聞いて拘縮・痙縮がどのようにして改善していくのか聞いてみたいと思いましたが、明るい未来がある事を知りました。身近に後遺症の方がいれば少しばかりアドバイスが出来るのかなと思いました。今日は参加出来てよかったです。(50代訪問介護員) など意見が多数アンケートに寄せられました。

尚、今回ご講演いただいた安保雅博先生の外来診療を当院において行っています。詳細はホームページ又はお電話にてお問合せください。



次回の医療・健康セミナーは
12月3日(月)16:00～17:00
外科、高屋医師による

**「あなたの胆石、あなたの脱腸、
腹腔鏡手術で治せます！」**
～放っておくとこんな危険が～
を開催いたします。多数のご参加をお待ちしています。

今月の標語

— 整理 整頓 —

安心安全な場所で患者さんと関わっていますか？
整理整頓を徹底し、危険のない・清潔な場所で
患者さんの対応をしましょう。
まずは自分たちの持ち場から。

- 整理＝不要なものを処分し、片付けること
- 整頓＝使用しやすいように整えること

医療サービス推進委員会

乳がんの発症率は12人に1人といわれ、特に40代後半からかかる危険性が高くなる。「日本人女性の罹患(り)かん)数は増え続けており、9人に1人の発症率である米国に近づいている」と話すのは、青森市の青森新都市病院(中島龍夫院長)の西隆乳腺外科部長・乳腺医療センター長。「早期の乳がんの9割は手術すれば治る病気。自覚症状のない早期のがんを見つけるには、マンモグラフィ(乳房エックス線撮影)による乳がん検診が有効」と話す。

同院では、自己チェックで異変を感じて来院する患者が多いという。「触ってみて変だな」と思いながらそのままにし、1〜2年後ようやく受診する方も。がんを放置することで病状が進むと、リンパ節や内臓に転移してしまい、治療が困難に。自己チェックも大切だ

定期健診で早期発見を

青森新都市病院(青森) 西 乳腺外科部長



が、無症状では見逃してしまふ。やはり定期的な検診が安心につながる。

マンモグラフィによる乳がん検診時に石灰化などを指摘された場合は、超音波検査やマンモトーム生検(問題の病変を含めた乳腺組織を切り取る検査)などでより詳しく検査し、乳がんと診断されたら、その特徴や進み

具合などを確認し、治療に進む。

乳がん治療には、手術と放射線治療による局所療法、ホルモン療法や化学療法などによる全身療法がある。早期の場合は、手術で乳腺の部分切除を行った後、放射線治療する乳房温存療法が可能だ。早期がんで広範囲に広がる場合は、乳腺を全摘した

「当院では、マンモグラフィは女性の技師が担当するので安心して検査を受けてほしい」と話す西部長

後、人工乳房で乳房再建する方法もある。

「当院では形成外科医が常勤しているので、乳房再建を含めた治療を選ぶことができる。乳房喪失による精神的なダメージも少なく済むでしょう」。早期なら選択肢も広がる。

乳がんの発生には、遺伝的な要因と環境的な要因がある。環境的な要因には、出産経験がないことや生活習慣などが挙げられる。なかでも喫煙について西部長は「その悪影響ははっきりしているの、健康のためにも喫煙はやめてほしい」と強調する。「良好な予後を迎えるためには早期の治療が不可欠。早期治療につながる定期的な検診をぜひ心掛けて」

二〇一八年十月一日

東奥日報 朝刊より

患者支援センターの紹介

患者様がスムーズに受診・入院できるように、また退院後の生活、転院先の紹介や調整など患者様と医療機関、介護施設をはじめ、行政や福祉に関わる多くの施設との調整役として役割を果たすことで顔の見える連携を作りたいと思っております。

また、CT や、MRI などの医療機器につきましても、地域の先生方に円滑にご利用いただくための予約調整も当部署で担当させていただいておりますので、是非ご活用していただければと思います。これからも相談員全員が力を合わせ、少しでも地域医療のお役に立ちたいと思っておりますのでご支援宜しくお願いたします。



青森新都市病院 外来担当医表 (平成30年11月)

※ 予約の際は、電話で診察日の調整をさせていただきますので、事前にご連絡をお願いいたします。

診療科		月	火	水	木	金	
脳神経外科	午前	太田 潔	◆日本大学 前田 剛 (6・20日) 福島 匡道 (13・20日)	★片山 容一	梅森 勉	羽入 紀朋	◆毎週 火曜日 終日 日本大学 派遣医師 ★21日(水)午前 診察医が 片山容一医師から 太田潔医師に変更となります。
	午後	梅森 勉	◆日本大学 前田 剛 (6・20日) 福島 匡道 (13・20日)	片山 容一	羽入 紀朋	太田 潔	
形成外科	午前	中島 龍夫	岩寄 大輔	岩寄 大輔	岩寄 大輔	中島 龍夫	※予約制
整形外科	午前	末綱 太			◆末綱 太	◆末綱 太	※予約制 ◆1日(木)、2日(金)、22日(木): 休診
	午後	末綱 太			◆末綱 太	◆末綱 太	
外科	外科・消化器外科		高屋 誠吾		高屋 誠吾		
	乳腺・甲状腺外科	午前	西 隆		西 隆	西 隆	※予約制
		午後	西 隆		西 隆	西 隆	
静脈瘤治療外来	午前				小西 宏明 (8・22日)		
	午後				小西 宏明 (8・22日)		
内科	午前	三浦 心	三浦 心	工藤 茂昭	三浦 心	工藤 茂昭	◆毎月 第4木曜日 午前 岩手医科大派遣医師
		工藤 茂昭	福島 彬裕		◆岩手医科大 伊藤 智範 (22日)	福島 彬裕	
	午後	福島 彬裕 (受付15:30迄)	福島 彬裕 (受付15:30迄)	工藤 茂昭	三浦 心 (予約制)	工藤 茂昭	
リハビリテーション科	午後				木下 翔司		◆22日(木): 休診
	特別	10日(土) 9:00 ~ ◆東京慈恵医科大学 安保 雅博					◆土曜日(不定期)、予約制
放射線腫瘍科	午前	◆東京女子医大 橋本 弥一郎 (5・19日)			◆東京女子医大 唐澤 久美子 (1・15・29日)		◆毎週 月曜日・木曜日 終日 東京女子医大派遣医師 ◆火曜日・水曜日・木曜日 終日
	午後	◆東京女子医大 橋本 弥一郎 (5・19日)			◆東京女子医大 唐澤 久美子 (1・15・29日)		
歯科	午前	◆柿崎 大和 (5・19日)		富樫 洋介	富樫 洋介	数坂 隆	◆月曜日 終日
	午後	◆柿崎 大和 (5・19日)		富樫 洋介	富樫 洋介 数坂 隆	数坂 隆	

編集後記

県内の紅葉の過ぎようとしている今日この頃
当院は昨年5月に開院しまして、もうすぐ2年
になろうとしています。地域に根ざした医療機
関を目ざし、他職者との顔の見える連携を図り
ながら頑張っております。今回、当初より念願だった「連
携だより」を発行の運びとなりました。まず初めにタイト
ル?というところから、院内の職員に公募しました。多くの
応募の中で、津軽弁の「かでる=仲間に入れる・面倒を

見る」に、「仲間になり一緒にやりたい」という言葉
に対して賛同が多かったことから、ローマ字で
「KADERU」と決めました。今後は奇数月を発行
月とし、院内情報を発信
していきたいと思っ
ています。よろしくお願
いいたします。(N.F.)

地域連携だより
「KADERU」
編集顧問 中島 龍夫
末綱 太
片山 容一